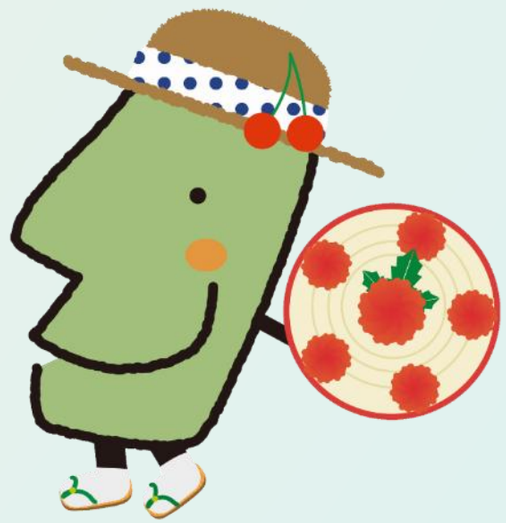
山形県職員トークライブ
～教えて先輩！～
（水産職）



令和８年８月19日

自己紹介



水産技術振興センター
水産研究部

＜入庁後の経歴＞
令和３年　入庁（現所属）



水産関係の職場



水産技術振興センター
水産研究部＠酒田市



水産技術振興センター
水産研究部＠鶴岡市



農林水産部水産振興課＠
山形市



水産技術振興センター内水面
水産研究部＠米沢市

出典：Google maps

水産研究部の仕事

○本県水産業の振興を目的とした研究開発

スマート漁業・資源利用担当

・資源管理型漁業に関する調査研究
・スマート漁業の推進に関する調査研究
・漁場開拓及び新資源に関する調査研究
・水産物の利用加工に関する調査研究

栽培資源担当

・種苗生産に関する調査研究
・水産資源増殖に関する調査研究
・磯根資源・藻場に関する調査研究
・増養殖に関する技術指導

担当している業務

加工品開発による水産物の価値向上

　市場価値が低い「未利用魚」の価値を向上させることを目的とし、ペット向け商品など新たなニーズに対応した加工品開発を行う。

資源評価に関する調査

　漁業試験調査船「最上丸」を活用し、本県沖のカレイやマダラ等の底魚類稚魚新規加入量を調査する。

ある１日の業務

8:30　業務開始（メール確認など）

9:00　未利用魚の加工品試作

12:00　お昼休憩

13:00　報告書、発表資料など作成

15:30　市場調査

17:00　水産研究部戻り、物品片付け

17:15　業務終了





印象に残っている業務

未利用魚を使用した魚醤開発



ゲンゲ類



ワーク・ライフ・バランス

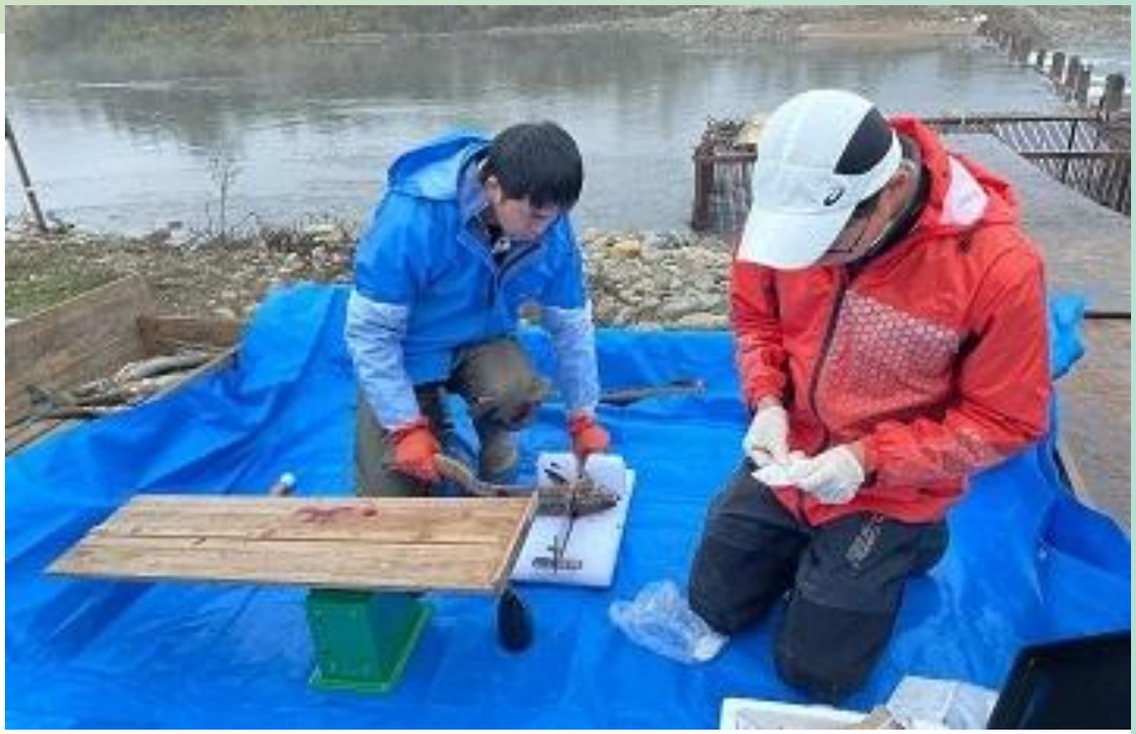
休日の過ごし方

年次有給休暇や夏季休暇も活用しながら
趣味の時間を楽しんでいます。





自己紹介



水産技術振興センター
内水面水産研究部　専門研究員

＜入庁後の経歴＞

平成26年　入庁
水産試験場（現水産研究部）
令和元年　内水面水産試験場（令和8年改称）

内水面水産研究部の仕事（一例）

- **種苗生産・技術開発**
  コイ・フナや県産ブランドマス「ニジサクラ」を生産しています。また、高品質なコイを生産するための技術開発を行っています。

- **養魚技術指導**
  養殖業者の技術指導を行っています。
  魚の病気が発生した際は、検査も行っています。

- **増殖技術指導**
  サクラマス・アユ・ワカサギの放流技術の開発や
  河川調査による生息数のモニタリングを行っています。

担当している業務



- **サケの回帰率向上試験**
  サケの回帰率を向上させるための大型稚魚放流試験
- **ワカサギ採卵・放流技術開発、技術指導**
  ワカサギの産卵期調査や採卵・放流技術開発
  漁業協同組合が採卵する際の技術指導
- **サケふ化場の巡回指導**
  県内の内陸部にある6か所のサケふ化場を巡回
- **魚病検査**
  放流魚（マス類、アユ、コイ）の保菌検査
  養殖業者からの相談対応、検査

ある１日の業務（サケふ化場の巡回指導）

8:30　業務開始　指導現場まで車で移動

9:30～10:30　寒河江市のサケふ化場で指導

11:00～12:00　村山市のサケふ化場で指導

12:00～13:30　移動、昼食

13:30～14:30　尾花沢市のサケふ化場で指導

16:15　内水面水産研究部に帰着　報告書を作成

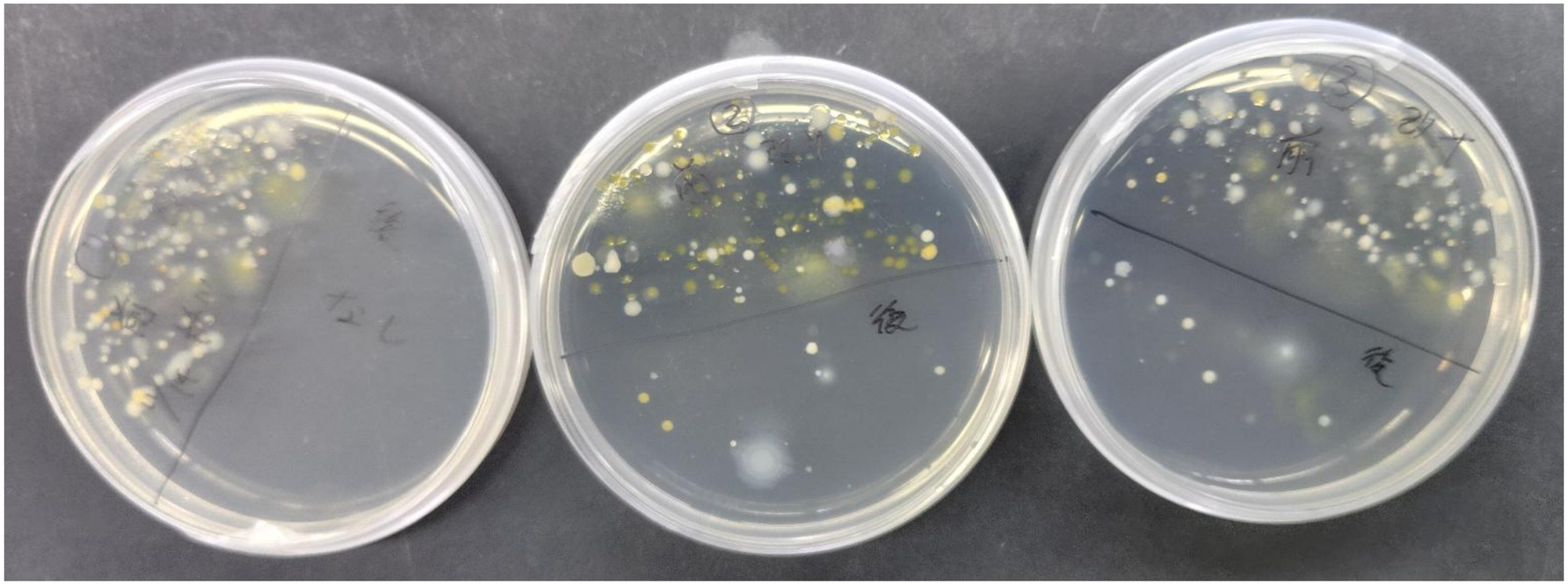
17:15　業務終了





印象に残っている業務

サケの冷水病対策指導



ワーク・ライフ・バランス

・年次有給休暇や夏季休暇を活用し、趣味の温泉めぐりや蕎麦打ちを楽しんでいます。







ご清聴
ありがとうございました

県職員は様々な業務を経験でき、どの仕事もやりがいがあります。
ぜひ私たちと一緒に働きましょう！